

IT サービスマネージャ 解答例

【午後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (18 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)6 点)

- (1) a : 3,900
- (2) b : ①
- (3) c : 10,800

設問 2 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) R クラウドのサーバの使用時間とストレージの使用量
- (2) T 事業部は利用していないのに DC 使用料が按分されてしまうこと

設問 3 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) 従量制料金であるサーバの R クラウド利用料金が予算を超過するリスク
- (2) 必要に応じてリソースオンデマンドを使うための予備の予算を別途確保しておく。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) a : 99.50
- (2) 保全・点検作業に伴う計画停止時間を削減できる。

設問 2 (18 点:(1)9 点, (2)9 点)

- (1) 駅務機器が故障する前にその兆候を検知でき、早急な対応をとることができる。
- (2) 実際にはまだ使える部材を交換してしまうという無駄なコストを抑えることができるから

設問 3 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) より早く障害を検知し障害連絡を行える。
- (2) SNS の情報は現場からの情報より正確性が低いから

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

- (1) 稼働環境を高速かつ簡単に生成できる。
- (2) 別の環境への移行が簡単にできるから

設問 2 (22 点:(1)8 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) W サービスを停止する必要がなく、運用部の作業負荷も軽減できる。
- (2) 稼働環境をグリーンからブルーに切り替えることで復旧できるから
- (3) 1.0 版の稼働確認後、稼働環境をブルーに変更する。

設問 3 (14 点:(1)7 点, (2)7 点)

(1) a : エラーログ情報を外部記憶装置に出力

(2) 7

以上